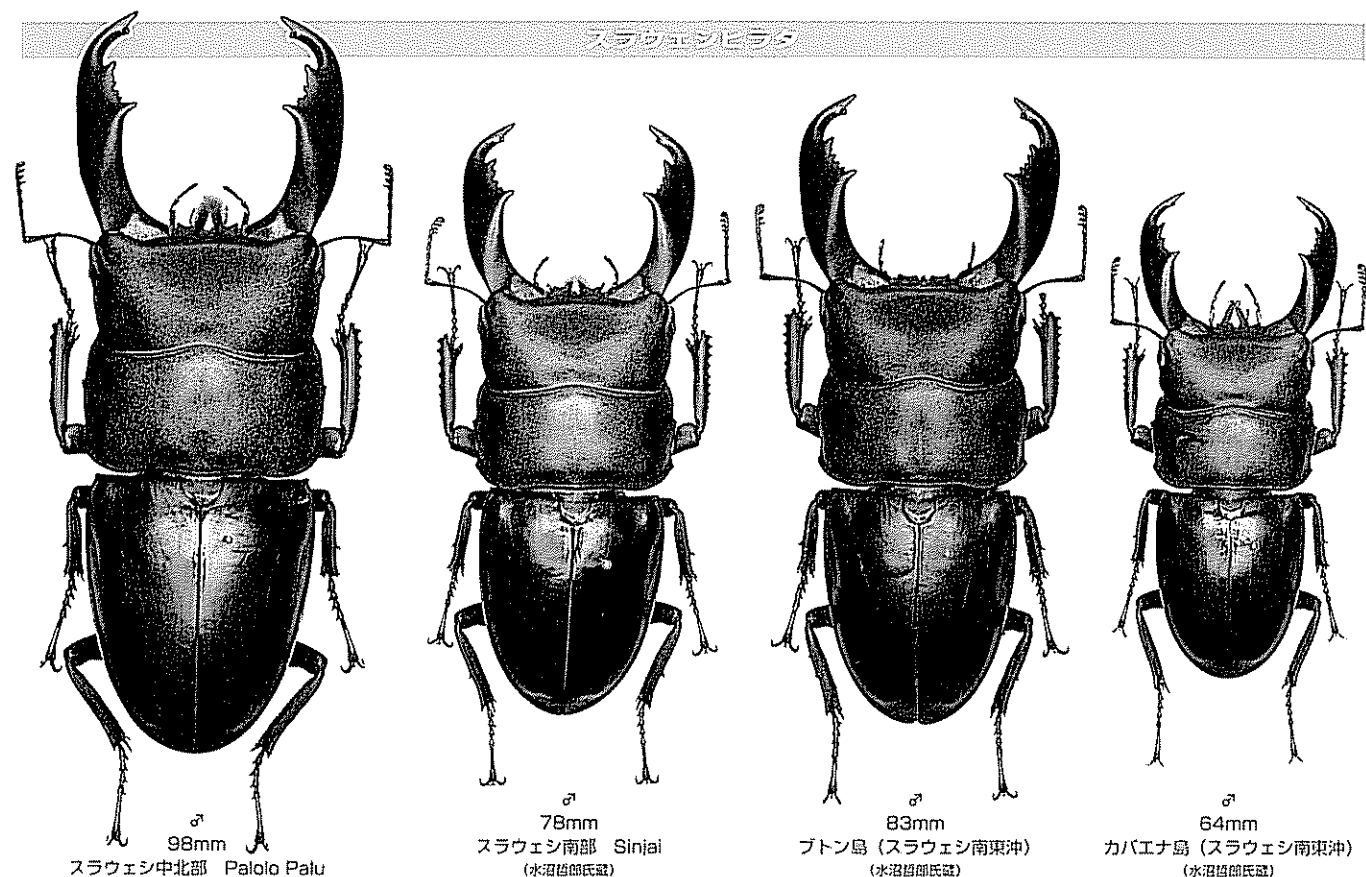


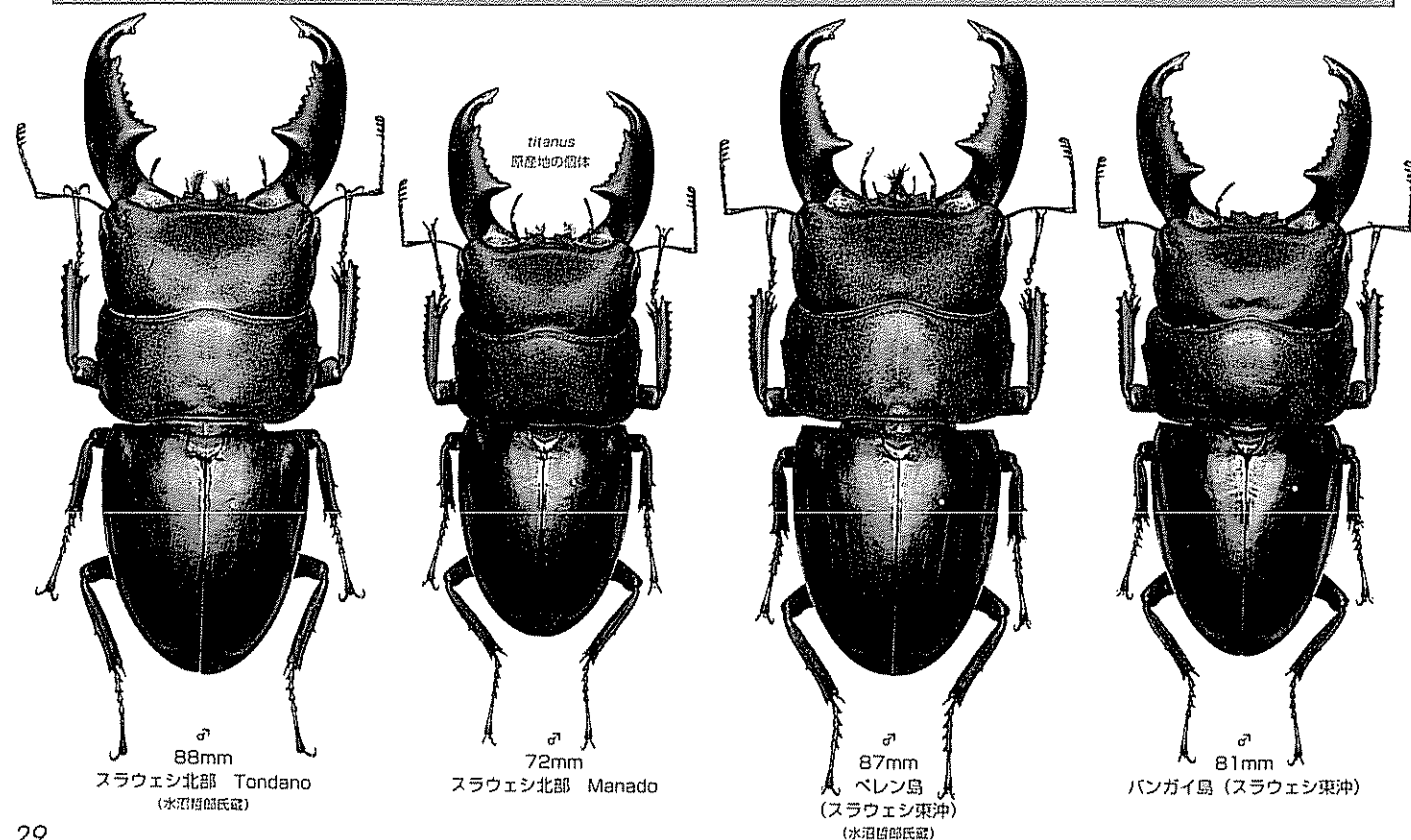
スラウェシヒラタ



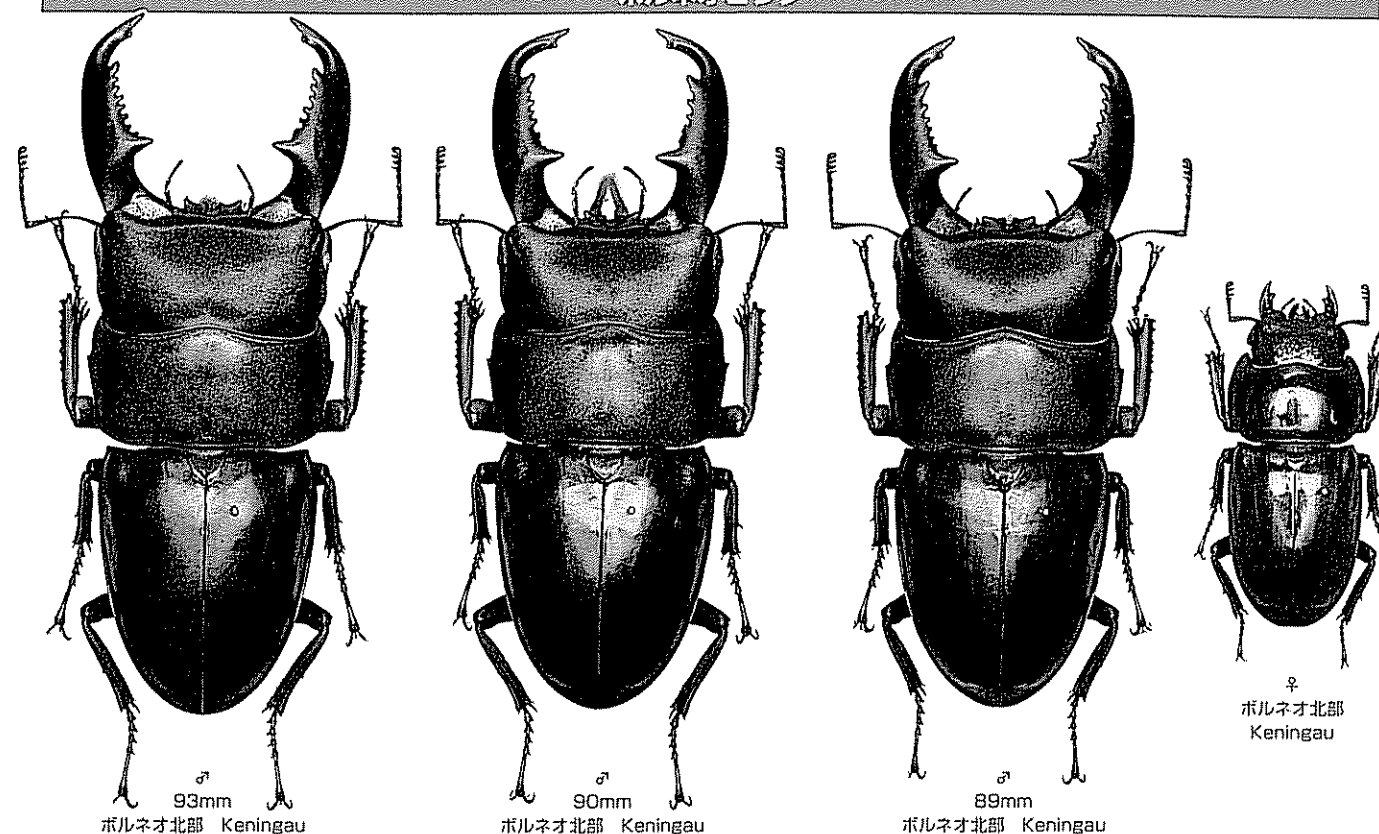
スラウェシ（セレベス）とその周辺離島のヒラタクワガタ

スラウェシには *titanus* の原産地 Manado（メナド）がある。Manado 周辺の個体は大あごが太短いヒラタで、ベレン島やバンガイ島のものも同様である。中北部の Palolo Palu（パロロバル）から南部にかけての地域には大あごが長く、内歯が上につくタイプのヒラタがいて（稀に内歯が下につく個体もある）、東部のヒラタとは一応の区別がつく。

ヒガンスラウェシヒラタ



ボルネオヒラタ



ボルネオのヒラタクワガタ

ボルネオのヒラタは、マレーヒラタをやや細身にして、体の表面の光沢を弱くしたような個体群である。すなわち、ボルネオヒラタ→マレーヒラタ→スマトラヒラタ、と大あごや体の幅、体の表面の光沢の特徴が移行していくことになる。

ボルネオヒラタ

